

2026 年度

私費外国人留学生特別選抜個別学力検査

獣医学部

小論文問題冊子

解答時間 60 分

注 意

解答始めの指示があるまで問題冊子を開かないこと。

- (1) 解答用紙 4 枚と下書き用紙 4 枚が同封されている。
監督者の指示があるまで、裏を向けて置いておくこと。
- (2) 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
- (3) 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入し、裏面は使用しないこと。下書きには、下書き用紙を使用すること。
- (4) 解答終了後、配布された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

課題 1 と 2 の問いに対する解答についてそれぞれ別の解答用紙に日本語で書きなさい。

<課題 1 >

動物の飼育は、公衆衛生と社会の安全に直結する社会責任である。スイスでは、飼い主を「監督者」と位置づけ、飼育前に資格取得を義務化し、犬税を徴収することで、飼い主の知識・技術と公的費用負担を担保している。これは、問題行動や公衆への危害を未然に防ぐためのリスクマネジメント制度である。

一方、日本では、狂犬病予防法に基づく制度を除き、飼い主の知識や技能を公的に保証する仕組みは不十分である。さらに、ペットショップでの生体展示販売が主流である構造は、「衝動買い」を誘発し、不適切な飼育による動物の健康リスクと社会的な問題を増大させている。

獣医学を学ぶ立場から、日本の動物飼育における「新しい飼い主制度」について自分の考えをまとめなさい。ただし、800 字以内とする。

<課題 2 >

下記の新聞記事を読み、問題点を整理したうえで、獣医師としてどのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい（500字以内）。

著作権の関係により公表しません

（出典：読売新聞オンライン 一部改変）